

大学コンソーシアムひょうご神戸
2024年度 第3回 国際交流委員会
議事次第

日 時:2024年11月25日(木)持ち回り開催

委 員 校:兵庫県立大学(委員長校)、神戸市外国語大学(副委員長校)

明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学 (計27校)

I. 審議事項

1. 2024年度国際交流委員会事業自己評価について

(資料1-2)

【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業

【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業

① 学生海外派遣プログラム(神戸常盤大学)

② 事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

II. 連絡・調整事項

1. 2024年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について

第4回委員会 2月:2025年度 事業計画・予算(案)

第5回委員会 3月:2024年度 事業報告・決算(案)

以上

<資料一覧>

資料1-1:【理事長名依頼状】2024事業計画の「自己評価」の作成依頼

資料1-2:2024年度 国際交流委員会事業 自己評価(案)

2024年11月吉日

大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会 委員長 各位

大学コンソーシアムひょうご神戸
理事長 中村 恵

拝啓 晩秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当コンソーシアムの活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当コンソーシアムでは、各事業委員会にて実施頂きました事業について「自己評価」を作成していただき、その内容をもとに企画運営委員会及び理事会にて事業の継続・改善等を検討することとしております。

つきましては、当コンソーシアムの活動の更なる充実のため、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

敬具

記

1. 各事業委員会への依頼内容と提出期限について

依頼内容:2024年度事業の実施内容(結果)と自己評価の作成、提出
2024年度事業計画(添付1)に基づき、プログラムごとに実施内容(結果)と自己評価を作成してください。12月以降に実施予定のプログラムについては、進捗状況を具体的に記入ください。

提出期限:12月5日(木)正午

2. 今後のスケジュール

- (1)ひょうご産官学連携協議会の構成員である兵庫県及び経済団体(兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業家同友会、兵庫県中小企業団体中央会)の意見聴取:12月
- (2)第9回企画運営委員会による事業改善提案の検討:12月
- (3)第5回理事会による事業改善提案の審議:1月
- (4)各事業委員会へのフィードバックと2025年度事業計画・予算提出依頼:1月
- (5)第11回企画運営委員会にて2025年度事業計画・予算検討:2月
- (6)第6回理事会による2025年度事業計画・予算審議:3月
- (7)ひょうご産官学連携協議会にて、2025年度事業計画・予算審議:3月

(添付書類)

・添付1 2024年度事業計画(事業委員会別)

以上

【問い合わせ先】大学コンソーシアムひょうご神戸事務局(担当:山本・谷本)
電話:078-271-0233 メール:kanri@consortium-hyogo.jp

【2024年度 国際交流委員会 自己評価】(案)

委員長校	兵庫県立大学
副委員長校	神戸市外国語大学
委員校 (全:27校)	明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進
取組1	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数 2500名以上/5年
活動指標	参加者数 500名以上/年
取組2	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②プログラム数 10件以上/5年
活動指標	プログラム数 2件/年

目的

「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとしてグローバル人材育成を目指した事業を展開する。

課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進			
予算額	【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業	9,625,000円
	【取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	50,000円

期待される効果

- 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
学生が主体的に学ぶことによる行動の変容、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズへの取組促進、高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。
- 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業
各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、人脈が広がる効果が期待される。
また、加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。

【2024年度 国際交流委員会 自己評価(⑤取組1)】

課題⑤	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数 2500名以上/5年
課題を解決する取組概要	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業。 本事業を通して、兵庫国際交流会館が多文化共生社会の実現に向けた取組を行う地域の拠点として認知されることを目指す。
活動指標	参加者数 500名以上/年

計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
<p>【趣旨】兵庫国際交流会館において「大学連携・産官学連携による人材育成」と「外国人留学生の受け入れから日本定着までの幅広い支援」によって、多様な人々が安全・安心に暮らし、互いに個人の尊厳と人権を尊重しながら、能力を最大限に発揮できる多文化共生社会の実現を推進すること。</p> <p>1. 国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team gnavi」の活動を実施する。 ・ファシリテーション、SNS等の研修 各講座10~15名程度</p> <p>2. 高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 (1)生活の支援 ア:防災教育の実施 [年1回以上、30名~100名] イ:大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 ウ:生活相談や医療相談機関の案内 (2)外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア:地域連携プログラム「英語村」 [年3回以上、各20人~50人] イ:大学との連携による共同事業 [年1回4コマ程度実施、各20名~70名] ウ:兵庫国際交流会館との連携による交流研究発表会の参加勧奨 ・神戸まつりやHIH寮祭(仮)の実施 [各年1回、各20~100名] (3)外国人留学生のキャリアサポート事業 日本企業と交流する機会や日本特有の就職活動、企業文化、ビジネスマナーを知る機会を提供する。 [5回以上開催、各30名~100名]</p> <p>3. 多文化共生社会の実現を推進する事業 「Nada Global village(NGV)」の実施 [年8回以上開催、各20名~300名程度]</p> <p>4. 情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 [毎年6回以上開催]</p>	<p>【計画に対する実施結果】</p> <p>1. 国際的に活躍できる人材の育成 ・多国籍企画チーム「Team gnavi」のチームミーティング、各イベントの企画・運営・広報・進行等 計11回実施,131名(延べ) ・ファシリテーション講座「リーダーシップ能力を育てる!国際学生会議!」計4回実施(6/6,6/20,6/27,7/4),113名(延べ)</p> <p>2. 日本定着に向けた取組 (1)生活の支援 ア:キャンプ~防災を学ぶSurvival 編~(9/10,11) 32名 イ:大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 毎月第2水曜日開催 計6回開催 ウ:医療法人星晶会 医療相談について周知 KICC頒布会について周知 (2)外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア:インターナショナルフェスティバル(7/9) 74名 英語村イン姫路(8/8) 32名 兵庫高校研究発表、神戸高校とシアトルアカデミーとの交流会・シアトル市長訪問(4/8,4/23,7/9) 119名 イ:甲南女子大学GCPプログラム(9/19,10/8) 82名 明石高専 UIA茶室展示・茶道講演・体験会(10/26)117名 ウ:交流研究発表会の参加勧奨(10/25) 48名 神戸まつり(4/21) 115名、HIH寮祭(10/26) 117名 (3)外国人留学生のキャリアサポート事業 Let's GO-SETSU 日本語講座(6/19) 35名 Let'sGO-SETSU 合同企業説明会体験(6/19) 35名 留学生と一緒に学ぶ日本語講座(7/27) 17名 キャンプ~日本で働くLive a life編~(9/10,11) 32名 留学生と企業と交流会(10/11) 69名</p> <p>3. 多文化共生社会の実現を推進する事業 NGV76国際交流ハイキング(4/14) 26名 NGV77イード・アル=フィットルを祝おう!(5/26) 24名 NGV78コミュニケーション学院留学生と遊ぼう!(5/22) 27名 NGV79留学生と一緒に学ぶ三味線(7/27) 36名 NGV80Club Geordie Innovative sports day(8/9) 40名 NGV81国際協力入門セミナー(9/27,10/26) 154名 NGV84国際協力・国際交流機関インターンシップリレー(8/22~6日間)29名</p> <p>4. 情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 ・国際交流委員会(4/22) 18名 ・オーストラリアクイーンズランド州政府、アメリカ領事館との交流会(4/22) 20名 ・EMIワークショップ(5/23) 10名</p> <p>【自己評価】 留学生と日本人学生との交流に重点を置き、日本人学生の積極的な関わりを促した。留学生対象の企画にも、日本人学生の学びに繋がることや日本人学生だからこそ果たせる役割に焦点をあて、より意義のある交流を意図した企画を実施した。留学生視点での、文化体験や交流体験、語学の習得といった入口から就職・定着へと、次のステップに進めるよう、企画を工夫した。その結果、単なる交流イベントでは聞き出せない留学生の本音や将来に向けた希望・不安等を把握し、就職相談や企業、地域活動へと繋ぐことができた。留学生の個性や適性は、一度の関わりでは理解し難いため、継続的に関わっていく仕掛けを作り成果を出すことができた。</p>	
達成目標に対する実績	①94.2% ②5562名(累計)	
活動指標に対する実績	1552名	
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
9,625,000円	5,590,381円(10月末時点)			
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 国際交流委員会 自己評価(⑤取組2)】

課題⑤	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進	
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②プログラム数 10件以上/5年	
課題を解決する取組概要	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム(神戸常盤大学) ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	
活動指標	プログラム数 2件/年	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
<p>①学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学 【アメリカ・ネパール 医療検査コース】 先端医療技術を用いて高度な医療を提供しているにも関わらず、高額医療費故に十分な医療を受けられない人もいるアメリカ。日本と比較して医療施設や保健施設が整っていないネパール。 文化的、社会的に全く異なる国を訪問し自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラム。</p> <p>[実施期間] アメリカコース:2024年9月13日(金)~9月23日(月)の予定 ネパールコース:2024年9月2日(月)~9月11日(水)の予定 [参加費用] アメリカコース 35-45万円程度 ネパールコース 25-35万円程度 ※為替レートによって変動する場合あり</p> <p>【オーストラリア 看護コース】 世界でも有数の医療福祉先進国と言われているオーストラリアで、医療福祉施設の視察や現地で働く看護師さん達との交流、看護大学での学習体験など、自らの目で見て体で感じる体験型プログラム。</p> <p>[実施期間] 2024年9月9日(月)~9月17日(火)の予定 [参加費用] 35-45万円程度(航空運賃、宿泊費、研修費、食事代、現地での交通費等含む) ※為替レートによって変動する場合あり</p> <p>②各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放で、以下の効果が期待されるプログラム ○自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がることを期待されるプログラム ○加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待されるプログラム</p>	<p>[計画に対する実施結果] ①学生海外派遣プログラム(神戸常盤大学) ネパール(9/2-9/11) アメリカ(9/13~9/23) オーストラリア(9/9-9/17)</p> <p>②各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放 ・神戸まつり(4/21 兵庫大学) ・EMI Workshop by Claire Lee (5/23 明石工業高等専門学校) ・留学生と一緒に学ぶ日本語講座&三味線コンサート (7/27 甲南女子大学) ・裏千家インターナショナルアソシエーション 茶室展示・茶道体験・講演会 (10/26 明石工業高等専門学校)</p> <p>[自己評価] 今まで連携の少なかった委員校とも連携プログラムを実施した。ひとつの企画を通じて関係性を深め、次の企画につながるという実績になった。今後も続けていきたい。</p>	
達成目標に対する実績	①98.6% ②11件(累計)	
活動指標に対する実績	6件	
自己評価基準:対到達目標 ※	4	
自己評価基準:対継続性 ※	4	

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
50,000円	17,445円(10月末時点)			
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※	自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
---	--	---	-------------	--